

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	兵庫県
-------	-----

学校の概要(平成16年2月現在)

学校名	神戸市立住吉中学校					
学 年	1年	2年	3年	障害児学級	計	教員数
学級数	5	5	5	1	16	29
生徒数	178	178	197	1	553	

研究の概要

1. 研究主題

少人数授業の在り方に関する研究

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>*・全学年・数学 学校として、当該教科に関する研究実績があるため</p> <p>・2年生・英語 これまでの研究成果と生徒に対する実態調査の結果から、実施学年・教科の枠を広げ、研究に取り組むため。</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 一人一人の学習意欲を高め、基礎・基本を身につけさせ「確かな学力」の定着を図る学習指導法の研究。</p> <p>研究の見通し 自己評価カード・単元テストなどの分析をし、研究推進委員会で話し合い、積極的に意見を交換し合うことによって、指導力を高める。</p> <p>研究の内容・方法 数学や英語に関する基礎的、基本的な内容を定着させ、生徒の興味・関心を高め学習意欲の向上を図るためのきめ細かな指導法を研究する。 少人数授業を実施することで学習環境を整えながら、生徒一人ひとりの弱点やつまずきを把握し、効果的な学習支援をする。</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 個々の生徒の学習到達度や、その状況を具体的に評価できるような評価規準を工夫改善し、個に応じた指導による確かな学力の定着を図る指導法の研究。</p> <p>研究の見通し 研究授業などを通して、個に応じた指導方法や指導体制の研究開発を図り、15年度の研究を継承し深化させていく。</p> <p>研究の内容・方法 数学や英語に関する基礎的、基本的な内容を定着させ、生徒の興味・関心を高め学習意欲の向上を図るためのきめ細かな指導法を昨年度の反省をもとに研究する。少人数授業を実施することで学習環境を整えながら、生徒一人ひとりの弱点やつまずきを把握し、効果的な学習支援をする。また、学習形態についても研究する。</p>
--------	---

* 平成15年度からの新規校については、平成15、16年度の計画について記入すること。

(3) 研究推進体制

* 校長 学習指導部 研究推進委員会 授業研究部 調査研究部 担当者会
教頭

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

* 少人数の指導により、きめこまやかに生徒の取り組みを把握することができ、生徒もわからないところを積極的に質問できるようになった。生徒の数学に対する理解度が増した。
数学の学習に自信を持ち、意欲的に学習に取り組む生徒が多くなった。
机間巡視が十分にできるため、意欲の少ない生徒に対しても積極的に働きかけることができ、意欲の向上に努めることができた。

2. 今後の課題

* 複数担任制のため、授業の進度をあわせるのが困難であったり、他学年の教師が乗り入れをしているため行事での自習等の計画。
さらに意欲を持って取り組める教材の開発と、定着度テストの内容に検討に加え、個々の生徒が学習の成果を確認し、自信を持って学習に取り組める学習システムの開発の推進。
担当者会で生徒の情報交換に加え、評価の方法の検討。
今後、習熟度別学習と均等分割学習の比較による教育効果の研究。

学力把握のための学校としての取り組み

* 4月 基礎学力テスト
5月～3月 小テスト
単元ごとの定着度テスト
個人カードでの自己分析

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

* 教室環境の整備(学習室・数学学習室)
* 教材の研究(数学科・英語科)
* 授業研究
* 学力の把握のためのテスト研究
* 基礎学力テストの研究、まとめ

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無